

2023 年 7 月 28 日

町田市長 石 阪 丈 一 様

町田市廃棄物減量等推進審議会  
会 長 山 下 英 俊2022 年度第 2 次町田市一般廃棄物資源化基本計画の  
進捗点検の結果について（報告）（案）

2023 年度第 2 回（2023 年 5 月 25 日開催）、第 3 回（2023 年 7 月 28 日開催）町田市廃棄物減量等推進審議会において、2022 年度の第 2 次町田市一般廃棄物資源化基本計画およびアクションプランについて進捗点検を行いました。その結果を、下記のとおり報告します。

## 記

2021 年 3 月（2020 年度）に策定した「第 2 次町田市一般廃棄物資源化基本計画」では、2030 年度までの全体目標として「1 人 1 日当たりのごみ排出量を 2019 年度比で 7%削減すること」「総資源化率を 40%まで高めること」「温室効果ガス排出量を 2019 年度比で 30%削減すること」を掲げています。

2022 年度の「総ごみ量（資源・集団回収量を含む）」は 116,678 トンで、前年度と比較して 2,310 トン（1.9%）減少しており、基準年の 2019 年度と比較すると 3,916 トン（3.2%）の減少となっています。

2022 年度の市民 1 人 1 日あたりのごみ量は 741 グラムで、前年度と比較して 16 グラム（2.1%）減少しており、基準年と比較すると 27 グラム（3.5%）の減少となっています。

ごみの内訳をみると、「燃やせるごみ（家庭系）」は、63,454 トンで前年度比 1,220 トン（1.9%）の減少、「事業系ごみ」は 17,660 トンで前年度比 544 トン（3.2%）の増加、「燃やせないごみ・粗大ごみ・有害ごみ」は 10,521 トンで前年度比 577 トン（5.2%）の減少となっており、事業系ごみ・有害ごみは前年度と比較して増加しておりますが、その他の項目は全体的に前年度と比較して減少しています。

2022 年度の総資源化率は、32.6%となっており、前年度と比較して 1.3 ポイント増加しており、基準年度と比較すると 1.4 ポイント増加しています。

2022 年度のごみ焼却による温室効果ガス排出量は、45,229t-CO<sub>2</sub> となっており、前

年度と比較して 10.5%増加しており、基準年度と比較して、33.9%増加しています。

第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプランの進捗点検では、5つの基本方針に基づき、各取組施策の進捗状況の確認を実施しました。進捗点検においては、2022年度のごみ量の傾向だけでなく、施策を展開するまでの過程や取り組み内容等を考慮して評価を行いました。

評価の基準は「A」「B」「C」「D」の4段階とし、各委員の評価をもとに、平均値及び意見等を踏まえ審議会としての評価としました。2022年度の進捗点検結果は別紙のとおりです。

2022年度は、2021年度と同様に総ごみ量（資源・集団回収量を含む）が減少しました。家庭系の燃やせるごみ・燃やせないごみが減少していますが、事業系ごみは増加しています。家庭系ごみ、事業系ごみ共に新型コロナウイルス感染症の感染拡大を始めとした社会情勢の変化の影響があったと考えられますが、今後も総ごみ量の減少傾向が続くよう、更なる施策の工夫を求めます。

町田市廃棄物減量等推進審議会  
2022年度第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン事業計画の評価

<評価基準>

- 【A】 ⇒ 大幅に取組が進んでいる（引き続き取り組む）
- 【B】 ⇒ 取組は進んでいる（もう少し取組を強化し進める）
- 【C】 ⇒ 改善（取組内容を検証し、効果的に進めるために、施策内容、実施回数、施策のスケジュール等の修正が必要）
- 【D】 ⇒ 新たな取組を検討し進めていく

※A=4,B=3,C=2,D=1として、各委員からの評価を点数化し、平均点により評価

<p>【基本方針1】</p> <p>市民、事業者との連携を強化し、協働による取組を進めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による制限が緩和されたこともあり、特に市民向けの普及啓発活動については、回数的には充実したものになっている。</li> <li>・市民からの具体的な話・行動事例に対する講座、事業者との連携姿勢に将来の可能性を感じる。</li> <li>・殆どの項目が目標値を達成して成果が見られる。良い取組を更に発信できるように活動してください。</li> </ul>
<p>評価</p>	<p>B (3.2)</p>	<p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ資源化団体の支援に関しては、早急に見直しが必要。</li> <li>・各種ツールによる情報発信の実績は評価できるが、その効果の検証が必要。</li> <li>・ごみ減量サポーターによる活動による効果が分かりにくい。</li> <li>・ごみ分別アプリのPRに期待。</li> </ul>
<p>【基本方針2】</p> <p>家庭系ごみの減量を進めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減に向けた周知活動、生ごみ減量のための補助を、計画通り進めている。</li> <li>・段ボールコンポストや給水スポットの整備など、一定の成果が見られる。</li> <li>・目標値に達していない項目が目立つ。</li> </ul>
<p>評価</p>	<p>C (2.7)</p>	<p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装プラスチック以外のプラスチックを今後どのように考えていくかの議論も必要。</li> <li>・民間企業の協力を得て店舗や店頭での回収を強化するなど、これまで十分でなかった取組をゼロベースで見直して進めるべきではないか。</li> <li>・リサイクルに関しては、幅広い年代層が対象となるので、その情報提供手段も検討が必要。</li> </ul>
<p>【基本方針3】</p> <p>事業系ごみの減量を進めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設のごみの削減では大きな成果が出ている。</li> <li>・準まちだ3R賞を創設し、4事業所を表彰したことは評価できる。</li> <li>・コロナの影響が大きくあまり取組が進んでいないように思う。</li> </ul>
<p>評価</p>	<p>B (3.0)</p>	<p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設や事業者から排出される事業系ごみは減少傾向にあるが、今後コロナ禍から経済活動が再開されてくることを考えると、今年度あたりから増加することも考えておく必要がある。</li> <li>・適正排出の取組、優良事例の公表共に大規模事業所に対する指導・表彰かと思われしますので小規模事業者への取組を強化が必要。</li> <li>・訪問指導は、事業所との信頼関係を築く上で、重要な取組である。さらに理解が進むよう取組を強化されたい。</li> </ul>

<p>【基本方針4】 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 硬質プラ目標が高すぎる為未達だが、前年に対しては大きく改善できている。</li> <li>• 新しいごみ焼却施設の、発電効率や発電量の実績は評価できる。</li> <li>• バイオエネルギーセンターの本稼働から約1年半経ちおおむね発電効率も達成されている。</li> <li>• 足踏み状態の項目が目立つ。</li> </ul>	
<p>評価</p>	<p>C (2.8)</p>	<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目標値に達している項目が少ない。次年度以降、どのようにすればより成果が上がるのか、検討が必要である。</li> <li>• 市民サービスと収集体制のバランスについて慎重な議論が必要である。</li> <li>• 2023年度の取組方針・内容の中に、2022年度と実質的に変わらないものとなっている記述が目につく。</li> </ul>
<p>【基本方針5】 社会的課題への対応を強化します</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害時等のごみ処理に関する対応に関しては、職員行動マニュアルの策定や廃棄物処理業者との協定締結と共に評価できる。</li> <li>• 災害廃棄物、高齢者対応、不適切回収、不法投棄、美化活動のいずれも、計画通り丁寧に実施されている。</li> <li>• 社会的課題に対して、様々な取組を行っていることは評価できる。</li> </ul>	
<p>評価</p>	<p>B (3.5)</p>	<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後は、検討結果を実施したり、キャンペーンの成果を示したりしていく必要がある。</li> <li>• 高齢者等に対する効率的な収集体制の策定を期待。</li> <li>• 不法投棄の効果的な防止対策の検討が必要。</li> </ul>